

令和2年度経済産業省デジタルプラットフォーム構築事業
(法人共通認証基盤の機能追加)

調査報告書

[令和3年3月]

NTT コミュニケーションズ株式会社

はじめに

第四次産業革命による技術革新（IoT、ビッグデータ、AI等の利活用）やFinTechなど新たなサービス業の台頭を受け、民間企業においては紙や押印を前提としない「デジタルファースト」での業務見直しが進みつつある。政府においても、平成29年5月に「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」（<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20170530/siryou1.pdf>）が閣議決定され、同時に「デジタル・ガバメント推進方針」

（<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20170530/suisinhosin.pdf>）がIT総合戦略本部・官民データ活用推進戦略会議において決定されるなど、デジタルファーストの考えの下、デジタル・ガバメントへの変革が動き出しつつある。

さらに、平成30年1月には、当該方針等に表示された方向性を具体化し、実行していくために詳細化された計画である「デジタル・ガバメント実行計画」（https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/egov_actionplan.pdf）が策定され、当該計画においては、法人が電子的な行政手続を1つのアカウントで行うための認証システムとして「法人共通認証基盤」を構築していくこととされたところである。

また、中小企業・小規模事業者を対象とする社会保険手続等の簡易なオンライン申請の実現に向け、平成30年11月19日に開催された規制改革推進会議において「規制改革推進に関する第4次答申」（<https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/suishin/meeting/committee/2018119/18119honkaigi01.pdf>）が取りまとめられ、その中でも『中小企業・小規模事業者を対象とする補助金、社会保険の就職、退職時等の手続について、法人共通認証基盤を活用し、1つのID・パスワードで簡単にオンライン申請できるようにする。』とされたところである。

さらに、官邸において実施されている「中小企業・小規模事業者の長時間労働是正・生産性向上と人材確保に関するワーキンググループ」において、『社会保険手続のID/パスワード方式の導入に向けたスケジュール』（https://www.kantei.go.jp/jp/singi/katsuryoku_kojyo/choujikan_wg/dai6/siryou4.pdf）が示され、検討が進められている。

我が国のこれまでの電子政府の取組は、紙や押印の機能を電子上で再現することを所与のものとし、また、制度・業務ごとに個別システムを構築してきたため、システム間の連携が取れておらずシステムごとにアカウント等を発行しており、必ずしも利用者にとって利便であるとは言えない状況である。

このような従来の電子政府の手法から、添付書類の削減や同一情報の提出は一度だけ（ワンスオンリー）とする、サービスデザイン発想での行政サービスを実現していくためには、複数のシステム間で同一ユーザを特定し、複数の行政手続を1つのアカウントにより申請することのできる認証基盤の整備が必要不可欠である。さらに、認証基盤を構築することにより、複数システムでの申請内容や履歴等を紐付けた行政ビッグデータの形成や、それを活用した質の高い行政サービスにも繋げていくことも期待できる。

そこで、本事業では、経済産業省において構築した法人共通認証基盤の機能追加を行う。

目 次

1 保守開発における機能等	1
1.1 法人設立ワンストップサービス連携機能	1
1.1.1 法人設立 OSS 連携機能要件	1
1.1.2 法人設立 OSS 連携機能概要	2
1.1.3 その他（主な考慮ポイント等）	3
1.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化	4
1.2.1 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化機能要件	4
1.2.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化機能概要	4
1.2.3 その他（主な考慮ポイント等）	17
1.3 Prompt Login 対応	19
1.3.1 再認証要求の機能概要	19
1.3.2 再認証要求の機能要件	19
1.3.3 再認証の要求	19
1.3.4 再認証の検証	20
1.4 申請状況確認機能	21
1.4.1 申請状況確認機能要件	21
1.4.2 申請状況確認機能概要	21
1.4.3 申請状況の出力パターンについて	23
1.4.4 申請状況の出力形式について	24
1.4.5 不正アクセス対策について	24
1.4.1 その他（主な考慮ポイント等）	25
2 実証	26
2.1 法人設立ワンストップサービス連携機能	26
2.1.1 業務フローの検討	26
2.1.2 ドキュメントの更新	26
2.1.3 機能実証	27
2.1.4 運用実証	29
2.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化	30
2.2.1 業務フローの検討	30
2.2.2 ドキュメントの更新	30
2.2.3 機能実証	31
2.3 申請状況確認機能	37
2.3.1 業務フローの検討	37
2.3.2 ドキュメントの更新	37
2.3.3 機能実証	38
2.3.4 運用実証	39
3 今後の取り組みについて	40
3.1 性能改善	40

3.2 セキュリティ強化	40
3.3 認証方式.....	40
3.4 審査方法.....	40
3.5 アカунトライフサイクル.....	41

1 保守開発における機能等

現在、gBizID プライムアカウントは、所定の申込書等の必要書類を運用センターに送付し、審査を行った上で発行している。審査業務の迅速化、効率化を実現するため以下の機能追加を行うと共に審査業務における運用上必要な作業フロー等の修正を行う。また、新規に連携予定の行政サービスとのシステム接続に際して、必要な改修および機能追加を実施し、併せてシステム開発後の保守業務も行う。

1.1 法人設立ワンストップサービス連携機能

新たに法人設立を行うユーザが、法人設立ワンストップサービス（以下、法人設立 OSS とする）のページ（※）より法人設立時に必要な手続や申請を行い、各種行政機関への申請の一つとして gBizID プライム申請およびアカウント発行までを全てオンラインにて行う機能を提供する。

従来の郵送申請（アカウント発行まで1～2週間）による gBizID プライムアカウント作成と比べて、本機能ではユーザ申請当日にアカウント発行まで可能となる。

※ 法人設立 OSS Top ページ : <https://app.e-oss.myna.go.jp/Application/ecOssTop/>

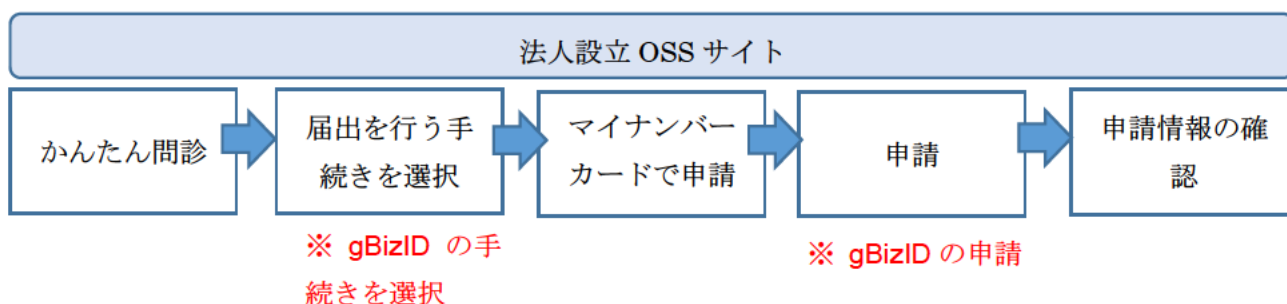


図 1.1 法人設立 OSS 申請の流れ

1.1.1 法人設立 OSS 連携機能要件

法人設立 OSS 連携機能の要件を示す。

要件 1 法人設立 OSS からの gBizID プライム申請リクエストを受け付け、アカウント仮登録処理を行うこと

要件 2 アカウント仮登録後、ユーザに対して SMS による電話番号認証およびパスワード登録機能を提供すること

(1) 法人設立 OSS からの gBizID プライム申請リクエスト後、法人共通認証基盤はアカウント仮登録を行い、ユーザに対して図 1.2 のようなメール通知を行う。

図 1.2 法人設立 OSS 受付メール例

- (2) ユーザは受信したメール本文中の URL にアクセス後、法人共通認証基盤はユーザに対してワンタイムパスワードを SMS にて送信する。
- (3) ユーザは SMS にて受信したワンタイムパスワードを図 1.3 の画面に入力する。

図 1.3 SMS 入力画面例

- (4) ユーザが図 1.4 の画面にてログインに使用するパスワードを新たに設定することにより、法人共通認証基盤はアカウント本登録を完了する。また、法人共通認証基盤からユーザに対して、図 1.5 のようなメール通知を行う。

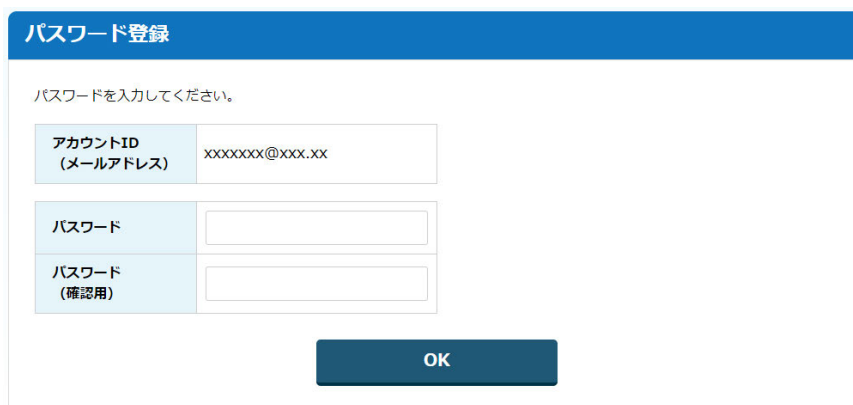


図 1.4 パスワード設定画面例

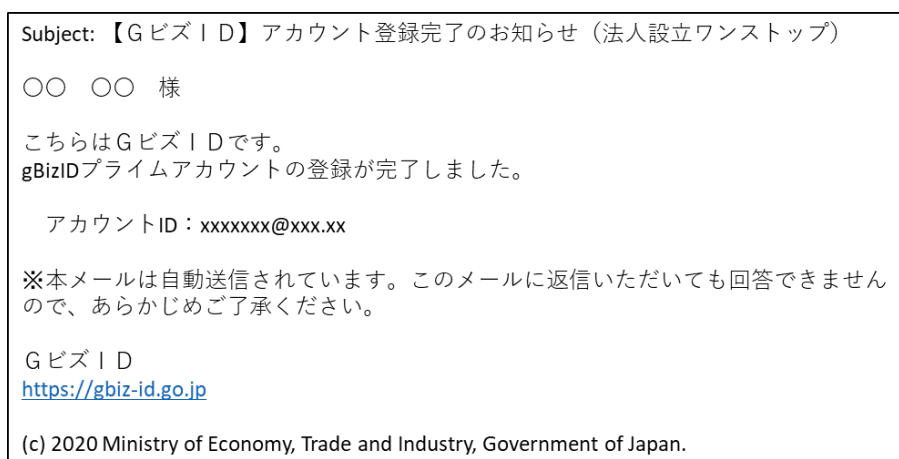


図 1.5 アカウント登録完了メール例

1.1.3 その他（主な考慮ポイント等）

登録可能なメールアドレスフォーマットについて、法人設立 OSS と法人共通認証基盤にて仕様が異なっていたため、法人設立 OSS 通過後に法人共通認証基盤側で登録エラーとならないようフォーマット調整を行うこととした。

1.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化

個人事業主が新たに gBizID プライム申請を行う際、マイナポータル AP（以下、マイナポ AP）を介してマイナンバーカードからの取得情報や署名用電子証明書を用いて本人確認を行い、オンライン審査にて gBizID プライムアカウントを発行する機能である。

従来の郵送申請（アカウント発行まで1～2週間）による gBizID プライムアカウント作成と比べて、本機能ではユーザ申請当日にアカウント発行まで可能となる。

1.2.1 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化機能要件
本機能の要件を示す。

- 要件1 G Biz ID トップページにマイナンバーカードを用いた申請リンクや説明ページ等のユーザ導線を設けること
- 要件2 マイナポ AP 経由で gBizID プライム申請に必要な情報をマイナンバーカードから読み出すこと
- 要件3 カードから読みだした情報およびユーザ入力による申請情報を元にオンライン審査を行い、gBizID プライムアカウント発行処理を行うこと

1.2.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化機能概要

マイナンバーカードを用いた申請の流れを図 1.6 に示す。

マイナンバーカードからの情報取得時に券面事項入力補助用パスワード入力、オンライン審査時に署名用電子証明書パスワード入力を必要とする。

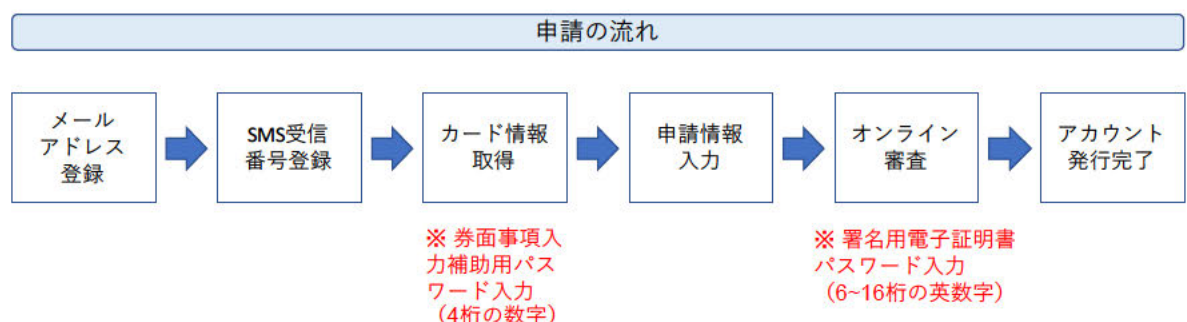


図 1.6 マイナンバーカードを用いたオンライン審査の流れ

1.2.2.1 G ビズ ID トップページのユーザ導線について

G ビズ ID トップページのユーザ導線イメージを図 1.7 に示す。ユーザが gBizID プライムアカウント申請を行う際、従来の郵送による書類提出とマイナンバーカード利用とユーザ自身で選択して申請できるよう G ビズ ID トップページに明示的に作成ボタンを設ける。

また、視覚的にも判別がつくよう、イラスト付きの作成ボタンとする（郵送による申請は郵便ポスト画像、マイナンバーカード利用の申請は、マイナンバーPR キャラクターであるマイナちゃん画像）。



図 1.7 G ビズ ID トップページのプライム作成ボタン

1.2.2.2 マイナンバーカード利用時の事前説明ページについて

マイナンバーカード利用時の事前説明ページを図 1.8 に示す。マイナンバーカードを利用した申請の事前準備として、準備するものや必要なソフトウェア（マイナポータル AP）のインストール手順の説明を行う。なお、マイナポータル AP のインストール手順は、マイナポータル AP のバージョンアップや仕様変更等により変更となる可能性があるため、マイナポータル AP の公式サイトへの外部リンクとする。

マイナンバーカードを利用したgBizIDプライム作成について

本手続きのページは、**個人事業主でマイナンバーカードを利用した登録**を行うための申請ページとなります。
※ 法人の方、または個人事業主で郵送による登録をご希望の方は [こちら](#) から手続きをお願いします。
※ すでにgBizIDプライムアカウントを登録済の方は、本手続きは不要です。

①事前準備

<用意するもの>

- ・マイナンバーカード（券面事項入力補助用パスワード、署名用電子証明書/パスワードが必要です）
- ・ICカードリーダーライター（[ICカードリーダーライターとは？](#)）
- ・Windows10 パソコン（[ブラウザは Edge、Chrome、IE \(Internet Explorer\)](#)のいずれかをお使い下さい。それ以外のブラウザでは動作いたしません）

<マイナンバーカードを利用するためのソフトウェア>

- ・マイナンバーカードの情報を読み取るため、[ご利用のブラウザにソフトウェア（マイナポータルAP）を事前にインストール](#)してください。インストール方法はブラウザごとに異なりますのでご注意ください。
※ 他の申請等で既にソフトをインストール済の方は、再インストール不要です。

【Edge（Chromium版）をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0164.html>

【Chrome をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0008.html>

【Internet Explorer をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0007.html>

②手続きの流れ

1 メールアドレス登録	メールアドレスを登録します。
2 SMS受信番号登録	SMS受信用の電話番号を登録します。 ※ 二要素認証に利用します
3 カード情報取得	マイナンバーカードを利用して必要情報を取得します。 ※ 券面事項入力補助用パスワードを入力（4桁の数字）
4 申請情報入力	gBizIDプライム申請に必要な情報を入力します。 ※ gBizIDプライムアカウントで利用するパスワードを新たに設定
5 アカウント登録完了	gBizIDプライムアカウント登録が完了します。 ※ 署名用電子証明書/パスワードを入力（6～16桁の英数字）

※ 事前準備が整えば、登録完了まで全体で10分程度の作業内容です。

[➡ メールアドレス登録画面へ](#)

図 1.8 マイナンバーカード利用時の事前説明ページ

1.2.2.3 メールアドレス登録

メールアドレス入力画面を図 1.9 に示す。ユーザは本画面にて gBizID プライムのアカウント ID となるメールアドレスを入力する。

また、G ビズ ID サービス利用規約を画面表示し、ユーザがチェックボックスにチェックを入れることで、利用規約の同意を行う。

図 1.9 メールアドレス入力画面

メールアドレス確認画面を図 1.10 に示す。ユーザが入力したメールアドレスに間違いがないか、確認画面を表示し、ユーザが登録ボタンを押下することにより、メールアドレスが登録される。また、入力したメールアドレスを修正する場合は修正ボタンを押下することにより、再度メールアドレスの入力を可能とする。

図 1.10 メールアドレス登録画面

メールアドレス登録完了画面を図 1.11 に示し、登録したメールアドレス宛に送信するメールを図 1.12 に示す。ユーザは本メールを受信することで、登録したメールアドレスが正しいことが判断可能である。

メールアドレス登録完了

送信されたメールを確認し、メール本文のURLリンクにアクセスしてください。
※ まだアカウント登録は完了していません。

アカウントID (メールアドレス)

dummy@dummy.com

図 1.11 メールアドレス登録完了画面

Subject: 【Gbiz I D】アカウント情報登録手続きURLのお知らせ（マイナンバーカード利用）
※アカウント登録手続きはまだ完了していません。※
こちらはGbiz I Dです。
以下のURLより、マイナンバーカードを利用して、アカウント情報を登録してください。

URL : <https://gbiz-id.go.jp/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx>
有効期限 : 2021/01/01 23:59

※上記URLは1度しかご利用いただけません。
※有効期限を過ぎた場合、再度GbizIDトップページの「gBizIDプライム作成（マイナンバーカード利用）」から再度手続きを行ってください。
※お手元に、マイナンバーカード、ICカードリーダライタ、Windows PCを準備したうえで、
手続きを進めてください。
※本機能は、Windows10（ブラウザはEdge、Chrome、IE）のみサポートしています。
他のOS（MacOS、iOS、Android等）では、ご利用いただけませんので、ご了承ください。
詳細は、[こちら](#)より、ご確認ください。

※本メールは自動送信されています。このメールに返信いただいても回答できませんので、あらかじめご了承ください。

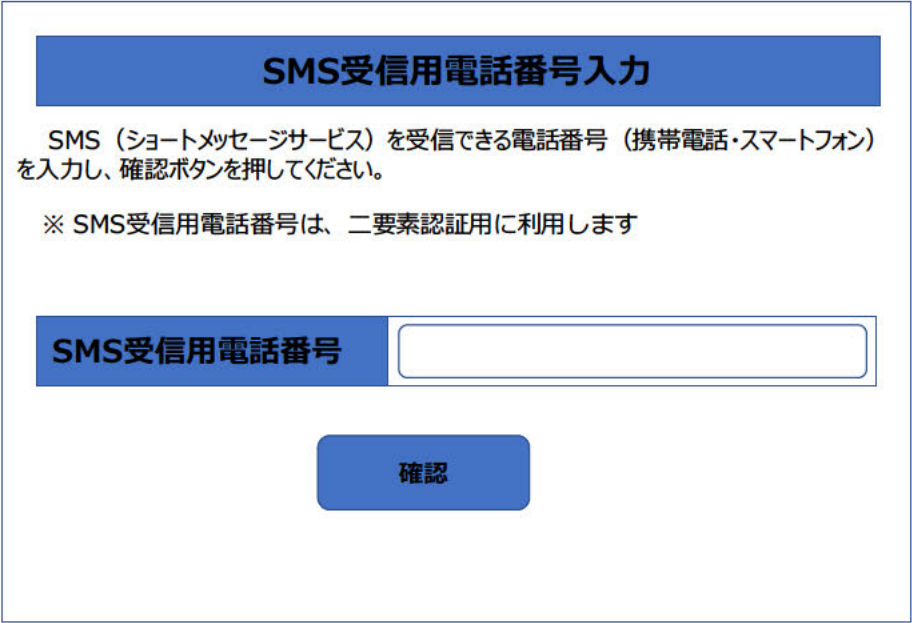
Gbiz I D
XXXXXXXXXX

(c) 2020 Ministry of Economy, Trade and Industry, Government of Japan.

図 1.12 アカウント情報登録手続き URL のお知らせ

1.2.2.4 SMS 受信用電話番号登録

ユーザが図 1.12 のメール本文中に記載の URL リンクにアクセスした後に表示する SMS 受信用電話番号登録画面を図 1.13 に示す。ユーザは本画面にて SMS を受信するための電話番号を入力する。



The screenshot shows a web form titled "SMS受信用電話番号入力" (SMS Receiving Phone Number Input). Below the title, there is a paragraph of text: "SMS（ショートメッセージサービス）を受信できる電話番号（携帯電話・スマートフォン）を入力し、確認ボタンを押してください。" (Enter a phone number (mobile phone/smartphone) that can receive SMS (Short Message Service), and press the confirmation button). Below this is a note: "※ SMS受信用電話番号は、二要素認証用に使います" (※ The SMS receiving phone number is used for two-factor authentication). The form contains a label "SMS受信用電話番号" (SMS Receiving Phone Number) next to an empty text input field. Below the input field is a blue button labeled "確認" (Confirm).

図 1.13 SMS 受信用電話番号入力画面

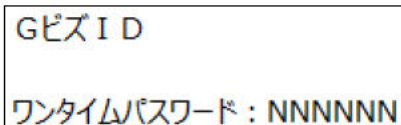
SMS 受信用電話番号の確認画面を図 1.14 に示す。入力した SMS 受信用電話番号に間違いがないかユーザが確認し、登録ボタンを押下することにより、SMS 受信用電話番号が登録される。また、入力した SMS 受信用電話番号を修正する場合は修正ボタンを押下することにより、再度 SMS 受信用電話番号の入力を可能とする。



The screenshot shows a web form titled "SMS受信用電話番号入力確認" (SMS Receiving Phone Number Input Confirmation). Below the title, there is a paragraph of text: "SMS受信用電話番号を確認し、登録ボタンを押してください。" (Confirm the SMS receiving phone number, and press the registration button). Below this is a label "SMS受信用電話番号" (SMS Receiving Phone Number) next to a text input field containing the number "09011111111". Below the input field are two blue buttons: "修正" (Correction) and "登録" (Registration).

図 1.14 SMS 受信用電話番号確認画面

登録した SMS 受信用電話番号宛に SMS として送信するワンタイムパスワードの通知イメージを図 1.15 に示す。図 1.16 のワンタイムパスワード入力画面に対して、受信したワンタイムパスワードをユーザが入力し、確認ボタンを押下することで、法人共通認証基盤にてワンタイムパスワード認証を行い、SMS 受信用電話番号が正しく利用できることを確認する。



GBIZ I D
ワンタイムパスワード : NNNNNN

図 1.15 SMS によるワンタイムパスワード通知



ワンタイムパスワード入力

SMSで受信したワンタイムパスワードを入力し、確認ボタンを押してください。

ワンタイムパスワード

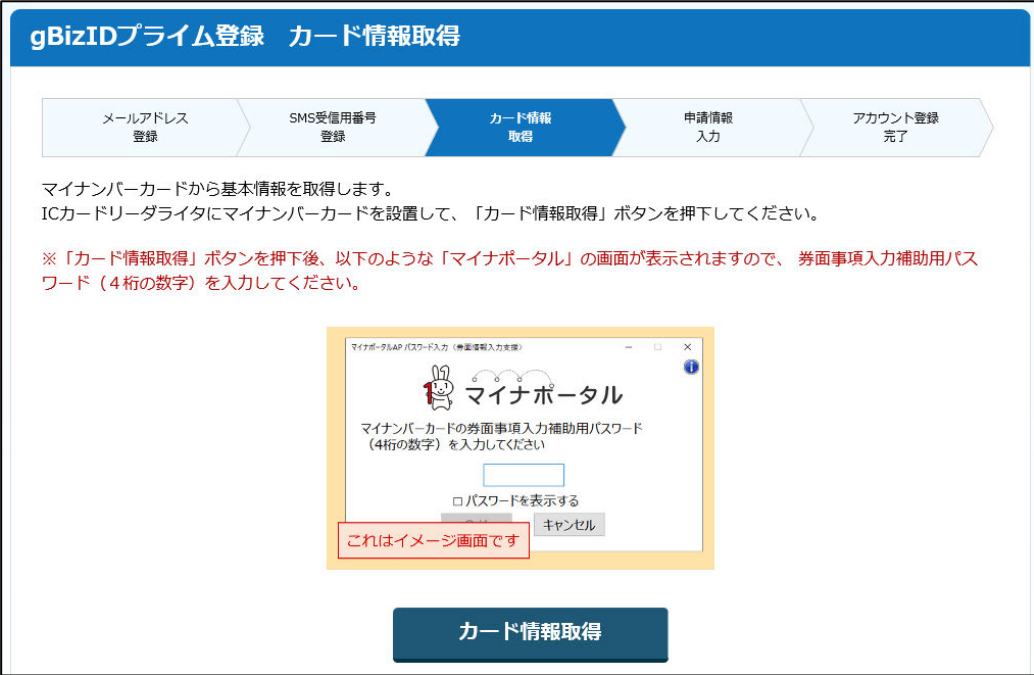
確認

図 1.16 ワンタイムパスワード入力画面

1.2.2.5 マイナンバーカード情報取得

ワンタイムパスワード認証後、マイナンバーカード情報取得画面を図 1.17 に示す。「カード情報取得」ボタンを押下後に表示されるマイナポ AP 画面イメージを、本画面にてあらかじめユーザに視覚表示することにより、ポップアップするマイナポ AP 画面に対するユーザの不安感を取り除き、安心感を与えることができる。

ユーザが IC カードリーダーに自身のマイナンバーカードを設置し、「カード情報取得」ボタンを押下することで表示されるマイナポ AP の券面事項入力補助用パスワード入力画面を図 1.18 に示す。本画面にてユーザが正しいパスワードを入力することにより、法人共通認証基盤ではマイナンバーカードの基本 4 情報（氏名、住所、生年月日、性別）を取得する。ただし、基本 4 情報のうち「性別」は、gBizID プライム申請には不要な情報であるため、法人共通認証基盤では情報を保持しない。



gBizIDプライム登録 カード情報取得

メールアドレス登録 SMS受信番号登録 **カード情報取得** 申請情報入力 アカウント登録完了

マイナンバーカードから基本情報を取得します。
ICカードリーダーにマイナンバーカードを設置して、「カード情報取得」ボタンを押下してください。

※「カード情報取得」ボタンを押下後、以下のような「マイナポータル」の画面が表示されますので、券面事項入力補助用パスワード（4桁の数字）を入力してください。

マイナポータルAP パスワード入力（券面事項入力補助）

マイナポータル

マイナンバーカードの券面事項入力補助用パスワード
（4桁の数字）を入力してください

☐ パスワードを表示する

これはイメージ画面です

カード情報取得

図 1.17 カード情報取得画面

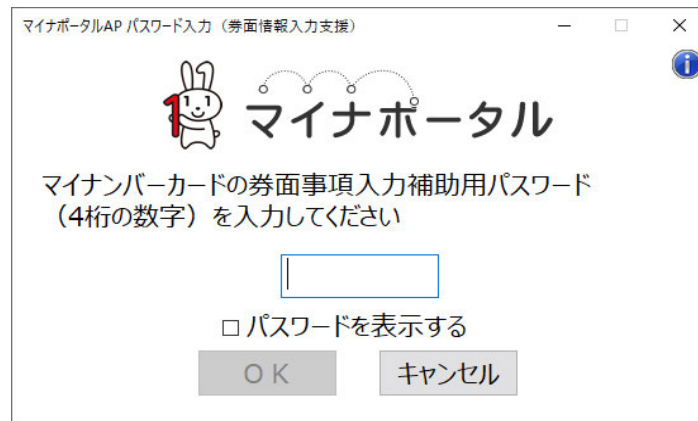


図 1.18 券面事項入力補助用パスワード

1.2.2.6 申請情報入力画面

マイナンバーカードから情報取得できないが、gBizID プライム申請に必要な情報を入力するための画面を図 1.19 に示す。

入力項目のうち、「必須」マークが付与された項目は入力必須なため、空欄のままでは登録することは出来ない。また、gBizID のログインに利用するパスワードを本画面にてユーザが新たに設定する。

申請情報入力			
申請情報を入力し、確認ボタンを押してください。 ※入力いただいたパスワードはお忘れにならないようお願いいたします。 ※「所在地」の「市区町村」欄が空欄になっている場合は、編集してください。			
基本情報			
屋号	必須		
所在地 必須	都道府県	京都府	
	市区町村	京都市東山区	
	町名番地、ビル名	三条通南裏二筋目白川筋目西	
代表者氏名	必須	山田【佐藤】	花子
代表者氏名フリガナ	必須		
代表者生年月日	必須	2000	12 01
アカウント利用者情報			
連絡先郵便番号	必須		
連絡先 住所	都道府県	必須	
	市区町村	必須	
	町名番地	必須	
	ビル名等		
部署名			
連絡先電話番号			
パスワード	必須		
パスワード(確認用)	必須		
確認			

図 1.19 申請情報入力画面

入力項目のうち、以下 3 項目はマイナンバーカードから取得した情報を画面埋め込みで表示し、ユーザによる編集は不可とする。

-
- ・マイナンバーカードから取得した氏名：代表者氏名
 - ・マイナンバーカードから取得した住所：所在地
 - ・マイナンバーカードから取得した生年月日：代表者生年月日

ただし、「所在地」について、マイナンバーカードから取得した住所が法人共通認証基盤にて正しく「市区町村」と「町名番地、ビル名等」に分割できない場合、表示される画面を図 1.20 に示す。本画面が表示された場合に限り、赤字で表示された市区町村以降の住所を「市区町村」欄と「町名番地、ビル名等」欄にユーザが正しく分割して入力できるよう、「市区町村」欄と「町名番地、ビル名等」欄は編集可能とする。

なお、分割前の住所と、分割後の住所全体（結合したもの）が完全一致しない場合は、登録できないため、マイナンバーカードから取得した住所以外の任意の住所（文字列）をユーザが入力することを防止する。

(例)

- ・分割前住所：千代田区霞が関 1－3－1

- ・分割後住所 ※ 登録できる分割例

「市区町村欄」：千代田区

「町名番地、ビル名等」：霞が関 1－3－1

- ・分割後住所 ※ 登録できない分割例

「市区町村欄」：港区

「町名番地、ビル名等」：霞が関 1－3－1

※ 赤字の市区町村以降の住所を「市区町村」欄と「町名番地、ビル名等」欄に正しく分割してください。

分割前の住所と分割後の住所全体が異なる場合は、登録できません。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

図 1.20 市区町村の分割入力説明画面

1.2.2.7 申請情報確認画面

ユーザ入力後の入力内容確認画面を図 1.21 に示す。「登録」ボタンを押下後に表示されるマイナポ AP 画面イメージを、本画面にてあらかじめユーザに視覚表示することにより、ポップアップするマイナポ AP 画面に対するユーザの不安感を取り除き、安心感を与えることができる。

ユーザが入力内容を確認し、「登録」ボタンを押下することで法人共通認証基盤にてオンライン審査を行う。なお、オンライン審査にあたり、マイナンバーカードから署名用電子証明書を取得するため、マイナポ AP による署名用電子証明書パスワード入力画面を図 1.22 に示す。



gBizIDプライム登録 申請情報入力 確認

メールアドレス登録 SMS受信用番号登録 カード連携 取得 申請情報入力 アカウント登録 完了

申請内容を確認し、登録ボタンを押してください。

⚠ 法人名/欄号を入力してください
本社住所/住所を入力してください

事業形態 法人

基本情報

法人名/欄号

所在地 都道府県 市区町村 町名番地、ビル名等

代表者名 代表者フリガナ 代表者生年月日

アカウント利用情報

利用者氏名 利用者氏フリガナ 利用者生年月日 連絡先郵便番号

連絡先住所 都道府県 市区町村 町名番地等 ビル名等

部署名 SMS受信用電話番号 連絡先電話番号 アカウントID (メールアドレス)

※「登録」ボタン押下後、以下のような「マイナポータル」の画面が表示されますので、マイナンバーカードの署名用電子証明書パスワード（6～16桁の英数字）を入力してください。アルファベットは大文字になりますのでご注意ください。

マイナポータル
マイナンバーカードの署名用電子証明書パスワード
(6～16桁の英数字)を入力してください
パスワードを再入力してください
これはイメージ画面です

修正 登録

図 1.21 申請情報確認画面

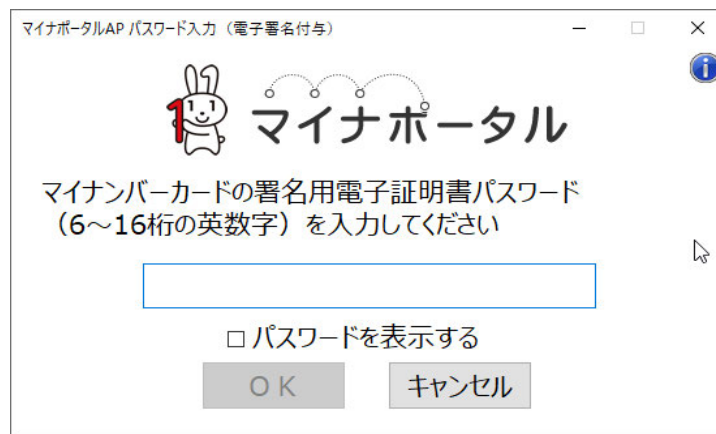


図 1.22 署名用電子証明書パスワード入力画面

1.2.2.8 アカウント登録完了画面

オンライン審査が正常に完了した後に表示される画面を図 1.23 に示す。

本画面が表示された後、ユーザは gBizID を利用したログインが可能となる。

アカウント登録完了		
アカウント登録が完了しました。		
事業形態	個人事業主	
基本情報		
屋号	山田花子	
所在地	都道府県	京都府
	市区町村	京都市東山区
	町名番地、ビル名等	三条通南裏二筋目白川筋目西入二丁目南側南木之元町 1 1 - 2 2 ガーデンハイツ南木之元町 2 0 2
代表者氏名	山田〔佐藤〕 花子	
代表者氏名フリガナ	ヤマダ ハナコ	
代表者生年月日	2000年12月1日	
アカウント利用者情報		
利用者氏名	山田〔佐藤〕 花子	
利用者氏名フリガナ	ヤマダ ハナコ	
利用者生年月日	2000年12月1日	
連絡先郵便番号	6050015	
連絡先住所	都道府県	北海道
	市区町村	札幌市
	町名番地	南区川沿 1 0 - 1 - 2
	ビル名等	グリーンヒル川沿 3 0 3
部署名		
SMS受信用電話番号	09011111111	
連絡先電話番号	09022222222	
アカウントID (メールアドレス)	dummy@dummy.com	

図 1.23 アカウント登録完了画面

1.2.3 その他（主な考慮ポイント等）

- ・ユーザ入力によるメールアドレスや SMS 受信番号の有効性を確認するタイミングは、登録誤りによるユーザの手戻りを軽減するために、申請フローの冒頭にて行うこととした。

- ・メールアドレスと SMS 受信番号を同一入力画面にした場合、どちらかの登録を誤った際に遡る手順が複雑になるため、メールアドレス、SMS 受信番号、それぞれシーケンシャルに有効性を確認することとした。

- ・マイナンバーカードの券面情報から取得した基本情報は、申請情報入力画面においてユーザによる書き換えができないよう編集不可とした（旧姓表記や外国人の通称名表記もそのまま表示を行う）。

- ・マイナポ AP はブラウザ依存となり動作するブラウザが固定されるため、法人共通認証基盤における画面遷移の際に適宜ブラウザチェックを行い、対応ブラウザではない場合にユーザに注意喚起を促すこととした。

1.3 Prompt Login 対応

prompt=login パラメータをサポートする機能を追加する。

1.3.1 再認証要求の機能概要

gBizID 認証基盤では、OpenID Connect 標準の Authorization Code Flow に準拠したシングルサインオン機能を提供している。gBizID 認証基盤上で 1 度認証を行えば（SSO 認証）、その SSO 認証情報（ログインセッション Cookie）が有効である限り、ユーザは RP 毎に ID/パスワード入力を求められることなく、各 RP が提供する Web サービスを利用できる。

一方、RP 側からの要件として「たとえユーザの SSO 認証が完了している場合であっても、重要なサイトへのアクセスについては再度ユーザの認証（再認証）を行いたい」といったケースや、「共有 PC などログアウトし忘れたまま離席した際に、PC を第三者に悪用されるリスクを排除したい」といったケースがある。

このようなケースに対応するために、OpenID Connect 標準ではユーザ認証を RP 側から明示的に要求する方法が規定されている（以下、この方法を「再認証要求」と呼ぶ）。

1.3.2 再認証要求の機能要件

- ・法人共通認証基盤の SSO 認証状態によらず、RP 側からユーザの再認証を明示的に要求できること。
- ・同一ユーザによる再認証が行われたことを RP 側で確認できること。
- ・ユーザの再認証が確実に行われたことを RP 側で確認できること。

1.3.3 再認証の要求

法人共通認証基盤では、OpenID Connect 標準に準拠した下記 2 つのパラメータを実装している。明示的な再認証を要求する場合、RP は通常の認可リクエストに下記 2 つのパラメータを追加する。

(1) prompt パラメータ

RP から通常の認可リクエストを受信した際、ユーザの SSO 認証情報が有効であれば、法人共通認証基盤はユーザへのログイン画面表示は行わない。しかし、認可リクエストの prompt パラメータに値 login が設定されている場合は（prompt=login）、ユーザの再認証が明示的に要求されていると判断し、たとえ当該ユーザの SSO 認証情報が有効であってもログイン画面を表示し、ユーザに対して再度認証を行うよう促す。

(2) login_hint パラメータ

認可リクエストの中で login_hint パラメータが設定されている場合、法人共通認証基盤はログイン画面を表示する際の ID 情報の初期値として、当該パラメータに設定された値を表示する。本パラメータに法人共通認証基盤のアカウント ID（メールアドレス）を設定すれば、再認証時のユーザ利便性を高めることができる。

1.3.4 再認証の検証

再認証の実施結果として ID トークンを受信した RP は、ID トークンの検証を行わなければならない。このとき、再認証の実施結果にかかる下記 2 点についても合わせて確認する必要がある。

(1) ユーザ同一性の確認

ログアウトし忘れた共有 PC を第三者に悪用されるリスクに対する対抗策として再認証を利用するケースでは、再認証の前後の ID トークンに含まれる iss クレーム (ID トークンの発行者) と sub クレーム (ユーザ識別子) をそれぞれ比較することによって同一ユーザによる再認証であることを確認する。これにより、別ユーザによる再認証の突破を防止することができる。

(2) 再認証の実施確認

RP からの認可リクエストはブラウザ経由のリダイレクトにより法人共通認証基盤へ到達するため、厳密に言えば、認可リクエストのパラメータはブラウザ操作者によって改ざん・追加・削除することができる。もし、prompt=login パラメータが削除されてしまうと、法人共通認証基盤側で再認証が行われず、RP もそれに気づくことができない。

ID トークンに含まれる auth_time クレームは、このような再認証の回避を防止するために利用される。auth_time クレームにはユーザ認証時刻の UNIX タイムスタンプが設定されるため、再認証要求後に取得した ID トークンをチェックした際に、auth_time の値が妥当な範囲で現在時刻に近い時刻である (もしくは、再認証要求の送信時刻よりも後である) ことをもって、RP は確実に再認証が行われたことを確認できる。

1.4 申請状況確認機能

gBizID プライムアカウントを申請中のユーザが、自身の申請状況のステータスを確認するために G ビズ ID ヘルプデスクへ問合せを行うケースが見られる。申請状況確認機能は、ユーザ自身で最新の申請状況を Web 画面から確認するための機能である。

なお、本機能の対象申請はプライム申請およびエントリーからのプライム変更申請のみを対象とする。

1.4.1 申請状況確認機能要件

要件 1 gBizID プライム申請中のユーザが、最新の申請状況を確認できること

要件 2 申請中のユーザが自身の申請状況を確認する際、以下 2 つの情報を入力し、システムにて照合すること

- ・ 申請時のアカウント ID (メールアドレス)
- ・ 生年月日 または SMS 受信用電話番号

要件 3 申請状況確認画面に対して、不正アクセス対策を施すこと

- ・ 検索対象期間として、申請日から直近 2 か月以内に限定する
- ・ 同一アカウント ID での検索回数の 1 日当たりの上限を設ける

1.4.2 申請状況確認機能概要

(1) ユーザは G ビズ ID トップページよりリンクされた申請状況確認画面にアクセスし、状況を確認するために必要な以下 2 つの情報を入力し、確認ボタンを押下する。

- ・ 申請時に入力したアカウント ID (メールアドレス)
- ・ 申請時に入力した生年月日 または SMS 受信用電話番号



gBizIDプライム申請状況確認

※プライム申請状況を確認するためのページです（申請から2か月以内の申請中データのみ検索可能です）。パスワードリセット画面ではございませんのでご注意ください。パスワードリセットは[こちら](#)。

gBizIDプライム申請時のアカウントIDと生年月日またはSMS受信用電話番号を入力してください。

申請時のアカウントID (メールアドレス)	aaa@bbb.ccc
◎ 生年月日	1970 年 1 月 1 日 ※西暦で入力してください。
○ SMS受信用電話番号	ハイフンなしで入力してください。 ※数字のみ入力してください。

※ラジオボタンを選択してください。

確認

申請書ID	申請状況
-------	------

図 1.24 プライム申請状況確認の入力画面

- (2) 入力された 2 つの情報を法人共通認証基盤にて照合し、合致する申請書 ID および最新の申請状況（審査状況）を結果表示する。

gBizIDプライム申請状況確認

※プライム申請状況を確認するためのページです（申請から 2 か月以内の申請中データのみ検索可能です）
パスワードリセット画面ではございませんのでご注意ください。パスワードリセットは[こちら](#)。

gBizIDプライム申請時のアカウントIDと生年月日またはSMS受信用電話番号を入力してください。

申請時のアカウントID (メールアドレス)	aaa@bbb.ccc
● 生年月日	1970 年 1 月 1 日 ※西暦で入力してください。
○ SMS受信用電話番号	ハイフンなしで入力してください ※数字のみ入力してください。

※ラジオボタンを選択してください。

確認

申請状況は以下の通りです
(同一アカウントIDで複数の申請がある場合は、申請書IDごとに複数行表示され、最新の申請が一番上に表示されます)

申請書ID	申請状況
1-210202-0001-7	gBizIDプライム申請が承認されました。 02月02日15時07分頃に以下の件名でメールが送信されていますので、メールの内容に沿って手続きをお願いします。 件名：【GビズID】gBizIDプライム登録申請の受付のお知らせ もしくは、 件名：【GビズID】gBizIDプライム変更申請の受付のお知らせ ※ メールが見つからない場合は、お手数ですが、ヘルプデスク までお問い合わせください。

※申請書作成日は、申請書IDの左から 2～7 桁目の数字となります。
左から 2～3 桁目の数字＝西暦の下二桁、4～5 桁目＝月、6～7 桁目＝日

【例】申請書ID「1-201201-0001-1」の場合、201201 ⇒ 2020年12月1日

図 1.25 プライム申請状況確認の結果画面

1.4.3 申請状況の出力パターンについて

申請状況として出力されるパターンを表 1.1 に示し、それぞれの状態を以下に記載する。

表 1.1 申請状況の出力パターン

#	申請状況
A	郵便到着待ちまたは現在審査中です。今しばらくお待ちください。
B	gBizID プライム申請が承認されました。 XX 月 XX 日 XX 時 XX 分頃に以下の件名でメールが送信されていますので、 メールの内容に沿って手続きをお願いします。 件名：【G ビズ ID】gBizID プライム登録申請の受付のお知らせ もしくは 件名：【G ビズ ID】gBizID プライム変更申請の受付のお知らせ ※ メールが見つからない場合は、お手数ですが、 ヘルプデスクまでお問い合わせください。
C	gBizID プライム申請が承認されました。 以下の件名でメールが送信されていますので、 メールの内容に沿って手続きをお願いします。 件名：【G ビズ ID】gBizID プライム登録申請の受付のお知らせ もしくは 件名：【G ビズ ID】gBizID プライム変更申請の受付のお知らせ ※ メールが見つからない場合は、お手数ですが、 ヘルプデスクまでお問い合わせください。
D	承認されましたが、承認メールが送付できませんでした。お手数ですが、ヘルプデスクまでお問い合わせください。
E	書類不備などの理由により申請は否認されています。申請書類が返送されますので、内容をご確認ください。
F	申請後、アカウントが削除されているか、申請が取り下げられています。
G	申請情報が確認できませんでした。

- ・ (A) ユーザによるプライムアカウント申請後、郵便配達中から運用センタによる審査が完了するまでの状態。

-
- ・ (B) および (C) 運用センタによる審査の結果、承認となり、ユーザに承認済の受付メールが送信されている状態。原則、メール送信日時が出力された (B) のパターンとなるが、メール送信日時が取得できない場合は (C) のパターンとなる。
 - ・ (D) 運用センタによる承認審査が完了し、ユーザに承認済の受付メール送信を試みたが、宛先不明や配送先メールサーバのセキュリティ機能等により、ユーザのメール BOX にメール配信できずエラーとなった状態。
 - ・ (E) 運用センタによる審査の結果、書類不備等のため否認となり、ユーザに該当書類を返却することとなった状態。
 - ・ (F) エントリーアカウントからプライムアカウントへ変更申請後、申請が取り下げられているか、該当アカウントが削除されている状態。
 - ・ (G) 申請状況照会のために入力された情報に誤りがある、または該当申請が検索対象期間外である（申請日から 2 か月以上経過している）、または既にアカウント登録済の状態。これらの状態を細分化して表示せずに、一つの同じメッセージにまとめることにより、第三者による不正検索リスクを軽減する。

1.4.4 申請状況の出力形式について

- ・ 同一アカウント ID にて複数の申請を登録した場合（申請間違いや再申請）も考慮し、入力した条件に合致した申請書 ID は複数件表示される。その際、申請が最新の申請書 ID が一番上にくるようにソートし、画面出力する。

- ・ 表示される申請書 ID は、申請書 ID の左から 2～7 桁目の数字にて申請書作成日が判断可能である。具体的には、左から 2～3 桁目の数字=西暦の下二桁、4～5 桁目=月、6～7 桁目=日である。

【例】 申請書 ID 「1-201201-0001-1」 の場合、201201 ⇒ 2020 年 12 月 1 日

1.4.5 不正アクセス対策について

本画面を通じて不必要な情報開示を防止する目的で、以下の対策を行う。

(1) 検索対象期間の限定

本機能にて検索可能な申請データは、申請日から 2 か月以内のデータに限定する。

(2) 同一アカウントに対する検索回数上限の設定

同一アカウント ID に紐づく生年月日または SMS 受信電話番号を総当たりで検索されることを防止するため、同一アカウント ID あたりの検索回数は当該情報の存在有無に関わらず 1 日につき 5 回までとする。同日中に 6 回目以降の検索を試みた場合は、翌日（0 時）になるまで検索機能がロックされ、検索することができない。

1.4.1 その他（主な考慮ポイント等）

画面にて検索するキーとして「申請書 ID」も候補としたが、ヘルプデスク問合せ実績から問合せ者が申請書 ID を認識しているケースが少ないため、「アカウント ID」および「生年月日または SMS 受信電話番号」を検索するキーとした。

2 実証

2.1 法人設立ワンストップサービス連携機能

法人設立 OSS 機能の追加に伴い、必要な業務の洗い出し、フローの整理を実施した。

2.1.1 業務フローの検討

(1) 業務洗い出し

本検討では、法人設立 OSS 導入に伴う運用への影響の有無を調査し下記の結論に至った。

1. 運用センターにおける審査等の業務は発生しない。
2. 連携における審査結果NGまたはエラー発生時に、ヘルプデスクへの問合せが発生する可能性があり、パターンは以下を想定。
 - ・不受理（別法人の法人代表者として既に gBizID プライムアカウントを取得済の場合）
 - ・メール未着
 - ・メール本文中のURLをクリックしても、SMSが届かない場合

(2) 業務フロー

法人設立 OSS における、運用センターでの業務フローの変更はない。

2.1.2 ドキュメントの更新

(1) クイックマニュアルの更新

法人設立 OSS 導入に伴い、ユーザに分かりやすいマニュアルを検討した。

1. 法人設立 OSS のみの独立したマニュアルを準備し、通常申請と分けて閲覧できるようにした。
2. 法人設立 OSS の全体フローを記載し、ユーザの作業を明確化した。
3. 申請時の注意事項を記載し、ヘルプデスクへの問合せを軽減すること視野に入れた。

上記内容を記載することで、ユーザの段取り、ヘルプへの問合せを軽減できる効果を期待する。

(2) F A Q の更新

法人設立 OSS 導入に伴い、ヘルプデスクに以下の問合せが発生することを想定し、F A Q に項目追加を検討した。

1. gBizID の登録お知らせSMSが届いたあとの対応方法についての質問
対応：F A Q にメール受信後の操作方法を追記した。
2. gBizID の申請が不受理になった場合の対応方法についての質問
対応：ヘルプデスクで対応が必要なため、問合せ先掲載場所の誘導方法を追記した。

2.1.3 機能実証

(1) 操作性および画面視認性

法人設立 OSS では、SMS 3 通、画面 3 つを対象に操作性および画面視認性を検証した。対象のメールと画面は以下となる。

1. gBizID プライム登録申請の受付のお知らせの SMS

Subject: 【G ビズ I D】 gBizID プライム登録申請の受付のお知らせ（法人設立ワンストップ）

〇〇〇〇 様

こちらは G ビズ I D です。

法人設立ワンストップからの申請により、
あなたの gBizID プライム登録申請を受付しました。
パスワードを登録して申請手続きを完了させる必要があります。

URL : <https://gbiz-id.go.jp/app/rep/oss/otp?token=xx>
有効期限 : 2021/01/01 23:59
プライム申請番号 : 5-123456-1234-X

上記URLへアクセスすると、登録いただいているSMS番号宛にワンタイムパスワードが届きます。
その数字を画面に表示されたワンタイムパスワード入力欄に入力してください。
パスワード登録画面が表示されますので、ご利用されるパスワードを登録してください。

※上記URLは一度パスワード登録が完了するとご使用いただけなくなります。
※有効期限を過ぎた場合、ヘルプデスクにお問い合わせください。

※本メールは自動送信されています。このメールに返信いただいても回答できませんので、あらかじめご了承ください。

(c) 2020 Ministry of Economy, Trade and Industry, Government of Japan.

図 2.1 gBizID プライム登録申請の受付のお知らせの SMS

2. ワンタイムパスワード入力画面

ワンタイムパスワード入力

SMSを送信しました。
SMSに記載されているワンタイムパスワードを1時間以内に入力してください。
期限内に入力されなかった場合、はじめからやり直していただく必要があります。

アカウントID	xxxxxxxx@xxx.xx
ワンタイムパスワード	

OK

図 2.2 ワンタイムパスワード入力画面

3. ワンタイムパスワードの SMS

G ビズ I D

ワンタイムパスワード : NNNNNN

図 2.3 ワンタイムパスワード入力 SMS

4. パスワード登録の画面

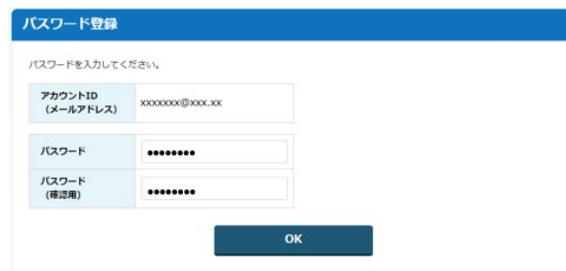


図 2.4 パスワード登録画面

5. gBizID プライム登録完了の画面



図 2.5 gBizID プライム登録完了画面

6. 登録完了SMS

Subject: 【G ビズID】アカウント登録完了のお知らせ（法人設立ワンストップ）

〇〇 〇〇 様

こちらはG ビズIDです。
gBizIDプライムアカウントの登録が完了しました。

アカウントID: XXXXXXXX@XXX.XX

※本メールは自動送信されています。このメールに返信いただいても回答できませんので、あらかじめご了承ください。

G ビズID
<https://gbiz-id.go.jp>

(c) 2020 Ministry of Economy, Trade and Industry, Government of Japan.

図 2.6 登録完了SMS

(2) 課題と対策

1. 操作性について

・ワンタイムパスワードが正しく受信できなかった場合に、再度URLにアクセスし再送信する必要があり、SMSの閲覧と画面の複数起動による混乱が懸念される。

対策：メールが届かない場合にヘルプデスクへの問合せが発生するため、回答により対応する。

2. 画面視認性について

・受付お知らせメールのURLが長くなった場合に、スマートフォン等の画面が小さいために有効期限やプライム申請書番号を確認しないで、URLにアクセスし重要な情報の確認が漏れることが懸念される。

対策：項目が少ないプライム申請番号、有効期限を先に表示することで解消される。

・ワンタイムパスワード入力画面で受信するSMSのワンタイムパスワードが、2行の文章構成のため、メールを閲覧しないと確認ができない。プッシュ通知を考慮した場合、1行メールにすることで、画面上での視認性と操作性が高いと考える。

対策：改行をなくすことで解消される。

2.1.4 運用実証

(1) エラー発生状況

ヘルプデスクへの問い合わせ状況等を集計した。

表 2.1 ヘルプデスクへの問い合わせ状況（2020年10月～2021年3月12日）

カテゴリ	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アカウント新規作成 (申請書作成手順・入力事項確認等)	101	152	217	520	1140	925
アカウント申請方法 (郵送要否確認・公的書類確認等)	48	49	62	96	432	694
アカウント登録審査状況確認	0	26	46	38	44	46
承認メール再送	0	0	14	43	46	26
アカウント変更	0	0	0	3	8	14
アカウント停止	0	0	0	0	0	0
アカウント再開	0	0	0	0	0	0

(2) 課題と対策

ヘルプデスクへの問い合わせ状況等を分析し、課題を抽出し対策を検討した。

・登録メールが届かない

対策：ヘルプデスクへの問合せが発生するため、回答により対応する。

2.2 マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化

マイナンバーカード連携機能の追加に伴い、必要な業務の洗い出し、フローの整理を実施した。

2.2.1 業務フローの検討

(1) 業務洗い出し

本検討では、マイナンバーカード連携機能導入に伴う運用への影響の有無を調査し下記の結論に至った。

1. 運用センターにおける審査等の業務は発生しない。
2. 連携における審査結果NGまたはエラー発生時に、ヘルプデスクへの問合せが発生する可能性があり、パターンは以下を想定。
 - ・不受理（別個人事業主として既に gBizID プライムアカウントを取得済の場合）
 - ・メール未着
 - ・メール本文中のURLをクリックしても、SMSが届かない場合

(2) 業務フロー

マイナンバーカード連携機能における、運用センターでの業務フローの変更はない。

2.2.2 ドキュメントの更新

(1) クイックマニュアルの更新

マイナンバーカード連携機能導入に伴い、ユーザに分かりやすいマニュアルを検討した。

1. マイナンバーカード連携のみの独立したマニュアルを準備し、通常申請と分けて閲覧できるようにした。
2. マイナンバーカード連携の場合、書類提出は不要であることを明記した。
3. マイナンバーカード利用における事前準備物、マイナンバーカードに関する問合せ先を記載し、ヘルプデスクへの問合せを軽減することを視野に入れた。

上記内容を記載することで、ユーザーの段取り、ヘルプへの問合せを軽減できる効果を期待する。

(2) FAQの更新

マイナンバーカード連携導入に伴い、ヘルプデスクに以下の問合せが発生することを想定し、FAQに項目追加を検討した。

1. マイナンバーカードで登録できるアカウントの種類についての質問
対応：FAQに取得できるアカウントの種類を追記した。
2. 申請時に準備するものについての質問
対応：準備する物とインストールするソフトウェア（マイナポータルAP）のダウンロードサイトのURLを追記した。
3. すでにエントリーを取得している場合に、マイナンバーカードを利用してプライムへの変更についての質問
対応：変更はできない事を記載し、プライム変更への手順と参照するクイックマニュアルを記載した。

2.2.3 機能実証

(1) 操作性および画面視認性

マイナンバーカード連携では、SMS 1 通、メール 1 通、1 1 画面を対象に操作性および画面視認性を検証した。対象のメールと画面は以下となる。

1. マイナンバーカードを利用した gBizID プライム作成について画面

マイナンバーカードを利用したgBizIDプライム作成について

本手続きのページは、**個人事業主でマイナンバーカードを利用した登録を行うための申請ページ**となります。
※ 法人の方、または個人事業主で郵送による登録をご希望の方は、[こちら](#) から手続きをお願いします。
※ すでにgBizIDプライムアカウントを登録済の方は、本手続きは不要です。

①事前準備

<用意するもの>

- ・マイナンバーカード（登録事項入力補助用/パスワード、署名用電子証明書/パスワードが必要です）
- ・ICカードリーダライタ（ICカードリーダライタとは？）
- ・Windows10 / パソコン（ブラウザは Edge、Chrome、IE (Internet Explorer) のいずれかをお使い下さい。それ以外のブラウザでは動作いたしません）

<マイナンバーカードを利用するためのソフトウェア>

- ・マイナンバーカードの情報を読み取るため、**ご利用のブラウザにソフトウェア（マイナポータルAP）を事前にインストール**してください。インストール方法はブラウザごとに異なりますのでご注意ください。
※ 他の申請等で既にソフトをインストール済の方は、再インストール不要です。

【Edge（Chromium版）をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0164.html>

【Chrome をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0008.html>

【Internet Explorer をお使いの方】
<https://img.myna.go.jp/manual/02/0007.html>

②手続きの流れ

1	メールアドレス登録	メールアドレスを登録します。
2	SMS受信番号登録	SMS受信用の電話番号を登録します。 ※ 二要素認証用に使います
3	カード情報取得	マイナンバーカードを利用して必要情報を取得します。 ※ 登録事項入力補助用/パスワードを入力（4桁の数字）
4	申請情報入力	gBizIDプライム申請に必要な情報を入力します。 ※ gBizIDプライムアカウントで利用する/パスワードを新たに設定
5	アカウント登録完了	gBizIDプライムアカウント登録が完了します。 ※ 署名用電子証明書/パスワードを入力（6～16桁の英数字）

※ 事前準備が揃えば、登録完了まで全体で10分程度の作業内容です。

[➡ メールアドレス登録画面へ](#)

図 2.7 マイナンバーカードを利用した gBizID プライム作成について画面

2. メールアドレス入力の画面

gBizIDプライム登録 メールアドレス入力

メールアドレス登録 SMS受信番号登録 カード情報取得 申請情報入力 アカウント登録完了

利用規約に同意の上、メールアドレスを入力し、確認ボタンを押してください。

メールアドレス

G BizID サービス
利用規約

(目的)
第1条 この利用規約(以下「本利用規約」という。)は、経済産業省（以下「本サービス提供者」という。 ）が提供するG BizID サービス（以下「本サービス」という。 ）の利用に関し、必要な事項を定めることを目的とします。

☐ 規約に同意する

[確認](#)

図 2.8 メールアドレス入力画面

3. メールアドレス入力確認の画面

図 2.9 メールアドレス入力確認画面

4. メールアドレス登録完了の画面

図 2.10 メールアドレス登録完了画面

5. アカウント情報登録手続きのメール

図 2.11 アカウント情報登録手続きメール

6. SMS受信電話番号入力画面

図 2.12 SMS受信電話番号入力画面

7. SMS受信電話番号入力確認の画面

gBizIDプライム登録 SMS受信電話番号入力確認

メールアドレス登録 SMS受信電話番号登録 カード情報取得 申請情報入力 アカウント登録完了

SMS受信電話番号を確認し、登録ボタンを押してください。

SMS受信電話番号 XXXXXXXXXX

修正 登録

図 2.13 SMS 受信電話番号入力確認画面

8. ワンタイムパスワードSMS

gBizID

ワンタイムパスワード: NNNNNN

図 2.14 ワンタイムパスワードSMS

9. ワンタイムパスワード入力の画面

gBizIDプライム登録 ワンタイムパスワード入力

メールアドレス登録 SMS受信電話番号登録 カード情報取得 申請情報入力 アカウント登録完了

SMSで受信したワンタイムパスワードを入力し、確認ボタンを押してください。

ワンタイムパスワード NNNNNN

確認

図 2.15 ワンタイムパスワード入力の画面

10. マイナンバーカード情報取得の画面

gBizIDプライム登録 カード情報取得

メールアドレス登録 SMS受信電話番号登録 カード情報取得 申請情報入力 アカウント登録完了

マイナンバーカードから基本情報を取得します。
ICカードリーダライタにマイナンバーカードを設置して、「カード情報取得」ボタンを押下してください。

※「カード情報取得」ボタンを押下後、以下のような「マイナポータル」の画面が表示されますので、画面事項入力補助用パスワード（4桁の数字）を入力してください。

マイナポータル
マイナンバーカードの画面事項入力補助用パスワード（4桁の数字）を入力してください。
パスワードを表示する
キャンセル
これはイメージ画面です

カード情報取得

図 2.16 マイナンバーカード情報取得画面

1 1. 申請情報入力画面

gBizIDプライム登録 申請情報入力

メールアドレス登録

マイID名と氏名登録

カード情報登録

申請情報入力

アカウント登録完了

申請情報を入力してください。

※入力いただいたパスワードは忘れにないようお願ひいたします。

※「所在地」の「市区町村」欄が空欄になっている場合は、編集してください。

基本情報

姓

都道府県

所在地

市区町村

町名番地、ビル名等

代表者名

代表者フリガナ

代表者生年月日

アカウント利用者情報

連絡先郵便番号

都道府県

市区町村

町名番地等

ビル名等

部署名

連絡先電話番号

パスワード

パスワード

パスワード(確認用)

確認

図 2.17 申請情報入力画面

1 2. 申請情報入力確認の画面

gBizIDプライム登録 申請情報入力 確認

メールアドレス登録 → SMS受信用番号登録 → カード登録 → **申請情報入力** → アカウント登録完了

申請内容を確認し、登録ボタンを押してください。

事業形態	個人事業主		
基本情報			
法人名/番号	株式会社 〇〇〇〇		
所在地	都道府県	東京都	
	市区町村	東京都中央区	
	町名番地、ビル名等	〇〇〇〇ビル	
代表者名	代表者 〇〇〇		
代表者フリガナ	タカハシ マサヒコ		
代表者生年月日	1980年01月01日		
アカウント利用情報			
利用者氏名	利用者 〇〇〇		
利用者氏名フリガナ	タカハシ マサヒコ		
利用者生年月日	1980年01月01日		
連絡先郵便番号	100-0001		
連絡先住所	都道府県	東京都	
	市区町村	東京都中央区	
	町名番地等	〇〇〇〇ビル	
	ビル名等		
部署名	〇〇部		
SMS受信用電話番号	03-XXXX-XXXX		
連絡先電話番号	03-XXXX-XXXX		
アカウントID (メールアドレス)	XXXXXXXX@XXX.XXX		

※「登録」ボタン押下後、以下のような「マイナポータル」の画面が表示されますので、マイナンバーカードの署名用電子証明書パスワード（6～16桁の英数字）を入力してください。アルファベットは入文字になりますのでご注意ください。

マイナポータル

マイナンバーカードの署名用電子証明書パスワード
(6～16桁の英数字) を入力してください

☐ パスワードを表示する

これはイメージ画面です

図 2.18 申請情報入力確認画面

1 3. アカウント登録完了の画面

gBizIDプライム登録 アカウント登録 完了

メールアドレス登録 SMS受信確認番号登録 カード情報登録 申込情報入力 アカウント登録完了

アカウント登録が完了しました。

事業形態 個人事業主

基本情報

番号

所在地 都道府県 市区町村 町名番地、ビル名等

代表者名

代表者名フリガナ

代表者生年月日

アカウント利用情報

利用者氏名

利用者氏名フリガナ

利用者生年月日

連絡先郵便番号

連絡先住所 都道府県 市区町村 町名番地等 ビル名等

部署名

SMS受信電話番号

連絡先電話番号

アカウントID (メールアドレス) XXXXXXXX@XXX.XXX

図 2.19 アカウント登録完了画面

(2) 課題と対策

1. 操作性について

- ・ワンタイムパスワードが正しく受信できなかった場合に、再度URLにアクセスし再送信する必要があり、SMSの閲覧と画面の複数起動による混乱が懸念される。

対策：SMSが届かない場合にヘルプデスクへの問合せが発生するため、回答により対応する。

- ・登録完了画面表示後、ログインへの移動ボタンが存在しない為、容易な画面遷移できなく、再度ページの検索が必要となる。

対策：法人設立ワンストップ同様に「ログインへ」ボタンを配置し、即ログインができることが望ましく、機能改修による対応が必要となる。

2. 画面視認性について

- ・登録完了後に、完了通知のメールが存在しない為、登録したアカウントのメールによる保存と認識ができない。

対策：通常のプライム申請や法人設立ワンストップでも登録完了のメールを通知している為、他同様にメールによる完了通知が望ましく、機能改修による対応が必要となる。

2.3 申請状況確認機能

申請状況確認機能の追加に伴い、必要な業務の洗い出し、フローの整理を実施した。

2.3.1 業務フローの検討

(1) 業務洗い出し

本検討では、申請状況確認機能導入に伴う運用への影響の有無を調査し下記の結論に至った。

1. 運用センターにおける審査等の業務は発生しない。
2. 「申請情報が確認できませんでした。」のメッセージが表示された場合に、ヘルプデスクへの問合せが発生する可能性があり、パターンは以下を想定。
 - ・ gBizID プライム申請後から2カ月以上期間が開いている場合
 - ・ 入力情報が間違っている場合
3. 「郵便到着待ちまたは現在審査中です。今しばらくお待ちください。」のメッセージが表示された場合に、ヘルプデスクへの問合せが発生する可能性があり、パターンは以下を想定。
 - ・ 郵便が到着しているか分からない場合
 - ・ 審査を実施しているかわからない場合
 - ・ 書類不備で返送している場合（審査結果が否認で返送している場合はわかる）

(2) 業務フロー

申請状況確認機能における、運用センターでの業務フローの変更はない。

2.3.2 ドキュメントの更新

(1) クイックマニュアルの更新

申請状況確認機能導入に伴い、ユーザに分かりやすいマニュアルを検討した。

1. 既存のマニュアルに、申請状況確認機能の説明を追記した。
2. 表示されるメッセージと説明を追記した。

上記内容を記載することで、ユーザーが状況を確認できて、ヘルプへの問合せを軽減できる効果を期待する。

(2) F A Qの更新

審査完了に関するF A Qに申請状況の説明とリンクを入れることで、ヘルプデスクへの以下の問合せが軽減することを期待する。

1. 審査完了のメールが届いていないため、現在の状況を確認したい。

2.3.3 機能実証

(1) 操作性および画面視認性

申請状況確認機能では、画面 1 つを対象に操作性および画面視認性を検証した。対象の画面は以下となる。

1. gBizID プライム申請状況確認

gBizIDプライム申請状況確認

※プライム申請状況を確認するためのページです（申請から2か月以内の申請中データのみ検索可能です）
パスワードリセット画面ではございませんのでご注意ください。パスワードリセットは[こちら](#)。

gBizIDプライム申請時のアカウントIDと生年月日またはSMS受信用電話番号を入力してください。

申請時のアカウントID (メールアドレス)	TEST@west.ntt.co.jp
☒ 生年月日	年 月 日 ※西暦で入力してください。
☐ SMS受信用電話番号	ハイフンなしで入力してください ※数字のみ入力してください。

※ラジオボタンを選択してください。

確認

申請状況は以下の通りです
(同一アカウントIDで複数の申請がある場合は、申請書IDごとに複数行表示され、最新の申請が一番上に表示されます)

申請書ID	申請状況
1-999999-9999-1	郵便到着待ちまたは現在審査中です。今しばらくお待ちください。

※申請書作成日は、申請書IDの左から2～7桁目の数字となります。
左から2～3桁目の数字＝西暦の下二桁、4～5桁目＝月、6～7桁目＝日

【例】申請書ID「1-201201-0001-1」の場合、201201 ⇒ 2020年12月1日

図 2.20 gBizID プライム申請状況確認画面

(2) 課題と対策

1. 操作性について

- ・シンプルな操作性となっているため、懸念される事項はない。

2. 画面視認性について

- ・検索欄と結果欄の2つで構成されており、視認性が高く、懸念される事項はない。

2.3.4 運用実証

(1) 問合せ発生状況

申請状況確認導入後のヘルプデスクへの問い合わせ状況等を集計した。

表 2.2 ヘルプデスクへの問合せ状況 (ID 登録審査状況確認のみ集計)

(2020 年 12 月～2021 年 3 月 12 日)

項目	12 月	1 月	2 月	3 月
問合せ総件数	10,254 件	6,677 件	9,226 件	6,737 件
ID 登録審査状況確認の件数	1,971 件	752 件	1,273 件	956 件
ID 登録審査状況確認の割合	19.2%	11.2%	13.8%	14.2%

(2) 課題と対策

ヘルプデスクへの問い合わせ状況等を分析し、課題を抽出し対策を検討した。

- ・郵便到着の管理ができない為、申請登録後は審査結果が反映されるまで状況が把握できない。

対策①：ヘルプデスクへの問合せが発生するため、回答により対応する。

対策②：システムで、郵便到着（審査待ち）等のステータスを保持し、ユーザに詳細な状況を開示する。ただし、受付システムからデータ連携することが前提となる。

- ・申請登録後から 2 カ月以上時間が空いた場合に、審査中もしくは否認返送中でも状況を検索できなくなる。

対策①：ヘルプデスクへの問合せが発生するため、回答により対応する。

対策②：検索条件で絞り込みを実施している為、2 カ月以上の条件を外す。

3 今後の取り組みについて

法人共通認証基盤に必要な課題として、大きく以下の5点が挙げられる。

- ・性能改善
- ・セキュリティ強化
- ・認証方式
- ・審査方法
- ・アカウントライフサイクル

3.1 性能改善

2020年度において、法人認証基盤をAWSに移行した。インフラ基盤における拡張性や柔軟性は強化されたが、上位のアプリケーション（ソフト面）については、2018年度に構築したアーキテクチャのままである。

300万アカウントを想定し、容量、スペック、処理能力、機能などの性能評価が必要であると考ええる。

性能評価を踏まえた上で、法人共通認証基盤が安定稼働するよう、段階的な機能追加、機能改善、チューニングなどの取り組みが必要である。

3.2 セキュリティ強化

法人共通認証基盤を運用している中で、毎月2～3万件の不正アタックが発生している。

悪質な通信は未然防止の観点も含めて、遮断すべきであり、そのためにも、法人共通認証基盤自体のセキュリティ強化が必要と考える。

3.3 認証方式

現行の法人共通認証基盤では、認証時の多要素認証として、SMS、認証アプリのいずれかの方式を採用している。

認証アプリについては、利用者から使い方が分かりにくい、機能が少ないなどのコメントがあり、改善が必要と考える。

多要素認証としては、FIDOについても有効な手段であると考ええる。

FIDOは、指紋、顔などの生体情報を利用したパスワードレス認証により、ストレスフリーな認証が可能となる。

また、生体情報は認証サーバーに送信されないため、漏えいリスクもない。

3.4 審査方法

現行の有人審査においては、申請の急増や有事の際の対応が困難な場合がある。

有人審査を介さない申請として、2020年度に、法人設立ワンストップサービス連携によるアカウント自動発行機能、マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化の機能と追加した。

マイナンバーカードを用いた審査のオンライン化の機能については、Windows版のみの対応となったため、今後、Android、mac、iOSについても対応していくことが求められる。

また、商業登記 API を利用した審査のオンライン化が実現できれば、より迅速に、より効率的に、多くのアカウント発行が実現できるのではないかと期待する。

3.5 アカウントライフサイクル

法人共通認証基盤は 2019 年度から本格運用を開始している。

アカウントや委任情報も増えているが、アカウントの有効期間や委任の有効期間についても、未定のままとなっており、早急に有効期間を決めていく必要があると考える。

また、ログや不要なデータも蓄積された状態であり、容量や検索時間などにも影響することから、期限やルールを設けるなどして、適切なデータ量にしていくことが望ましいと考える。